

裁判例検索データベースの内容及び使い方について

1 収録内容

裁判例検索データベースに掲載されている判決等のデータは、原則として平成17年4月1日以降のもの(それ以前のものも一部含みます。)です。最高裁判決、地裁判決及び平成17年3月以前の東京高裁の判決も含めてキーワード検索したい場合は、裁判所ウェブサイトの「判例検索システム(知的財産裁判例集)」をご利用ください。

2 検索の方法

(1) 検索条件指定画面を利用すると、裁判例検索データベースに掲載されている判決等のデータから条件を満たすものを検索することができます。

例えば、「裁判年月日」の「期間指定」にチェックを入れた上、年月日を入力するボックスに「平成18年1月1日～平成18年12月31日」と入力し、「判決結果」を「請求棄却」、「事件種類(審決)」を「無効不成立」、「キーワード検索」を「進歩性」と入力し、検索すると、平成18年において審決が進歩性ありとして無効審判請求を不成立とし、知財高裁も審決を維持した事件が検索結果一覧表示画面に表示されます。

(2) 「期日指定」と「期間指定」

検索したい判決等の裁判年月日が分かっている場合には、「裁判年月日」で「期日指定」にチェックを入れ、年月日を入力するボックスのうち、最初の方のボックスにのみ(後ろの方のボックスには何も入力しないでください。)裁判年月日を入力し、その後、必要に応じて、「事件種別」、「事件種類」、「権利種別」等の項目を適宜入力して検索していくことで所望の判決等の情報を得ることができます。

また、一定期間内にされた判決等を他の検索条件と併せて網羅的に検索することもできます。その場合には、「裁判年月日」で「期間指定」にチェックを入れた上、年月日を入力する2つのボックスのうち、最初のボックスに「期間の始期」を、後ろのボックスに「期間の終期」をそれぞれ入力し、さらに、必要に応じて他の検索条件を入力して検索してください。

(3) キーワード検索

検索条件指定画面にテキストフィールドがあります。AND条件（指定したキーワードをすべて含むもの。）で検索したい文字列は縦方向に、OR条件（指定したキーワードの少なくとも1つを含むもの。）で検索したい文字列は横方向に条件を入力してください。なお、特許の「進歩性」、商標の「混同を生じるおそれ」といった「主な争点」についてもキーワード検索をすることができます。

(4) 直近の判決等の情報

「検索条件指定画面」上段の「最近の審決取消訴訟」及び「最近の侵害訴訟等控訴事件」では、それぞれ最近6か月以内に言い渡された判決等が一覧表示されます。

3 検索結果

検索結果一覧表示画面には、「事件番号」、「事件種類」、「裁判年月日」、「裁判結果（担当部）」、「権利種別」、「主な争点」（控訴事件の場合には「原審裁判所名」、「原審事件番号」も表示されます。）が表示されます。また、各事件の左上の事件番号のリンクをクリックすると、当該事件についての検索結果詳細画面が表示され、更に「当事者」、「上告提起等の有無」、「上告審の結果」を見ることができます。

検索結果一覧表示画面及び検索結果詳細画面中の「全文」、「要旨」の各リンクをクリックすると、その事件の判決の全文、要旨をそれぞれ見ることができます（ただし、要旨については、重要な法律上の判断を含む事件や、審決を取り消し、又は原判決を変更し又は取り消した事件などについてのみ掲載しています。）。